



tv asahi

テレビ朝日ホールディングス

第80期 報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日



株主の皆様へ

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第80期の報告書をお届けいたします。

第80期は業績改善施策やコストコントロールの末、連結売上高2,936億3千8百万円(前期比△2.7%)、営業利益125億6千5百万円(同△22.3%)をなんとか確保いたしました。結果として大変厳しい業績となりました。

最大の要因はテレビ広告市場全体の急激な冷え込みです。2019年は日本のインターネット広告費が地上波テレビ広告費を初めて超え、テレビが日本のメディアの中軸をインターネットに譲った歴史的な年となりました。テレビ広告市場全体は今、構造的な変化に直面しています。

これに追い打ちをかけたのが、2020年に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大です。経済活動の停滞をもたらしたことはいうまでもありませんが、ソーシャルディスタンスを補うためにデジタルツールの利活用が加速度的に進んだ結果、今後は社会全体のデジタルシフトがさらに進んでいくことが予測されます。

インターネットへのパラダイムシフト、新型コロナウイルスがもたらした社会の変貌、こうした経営環境の構造的な変化の中でも持続的に成長できるよう、テレビ朝日グループではこれまで幾多の手を打ってまいりました。

インターネット上に新たなマスメディアを立ち上げることを目的に、(株)サイバーエージェントと共同で開始したABEMA(旧称AbemaTV)は1,000万WU(ウィークリー・アクティブ・ユーザー)を超えるようになるまで成長を遂げました。

今後急速な拡大が予想されるインターネット動画広告市場を獲り込むため、昨年5月には連結子会社(株)UltraImpressionを立ち上げました。今後テレビ局がインターネット上でも番組・動画コンテンツを配信する機会が急激に増えていく中、テレビ局自体がインターネット上で動画広告を配信できる技術基盤を他のインターネット企業に依存することなく、自前で持つことが極めて重要になります。UltraImpressionは動画広告配信基盤を開発・運用することを目的に設立した会社で、日本のテレビ局としては初めての試みといえます。すでに広告主の皆様にご活用いただいております。将来はテレビ朝日グループを支える重要な資産に成長していくと期待をしております。

さらに、今年3月には、KDDI(株)の定額型動画配信サービス

「ビデオパス」を、KDDI・テレビ朝日の折半出資会社に移管し、4月から新サービス「TELASA」に衣替えしました。近年有料動画配信市場が大きく成長しており、その中でも月額料金で作品を見放題で視聴できる定額型動画配信(SVOD)が有望視される中、当社としてもSVODの本店をようやく確保することができました。KDDIの顧客基盤や5Gをはじめとした技術基盤と当社のコンテンツパワー・メディアパワーを惜しみなく投じて、ABEMAとともに日本有数の動画配信プラットフォームに成長させる所存です。

メディアを取り巻く経営環境が混んとする時代において、結果として生き残れるのは、強いコンテンツをつくり続けられる者のみです。テレビ朝日グループは、第80期においてもそのコンテンツパワーを大いに発揮することができました。連続ドラマでは「ドクターX ～外科医・大門未知子～」 「相棒season18」 「緊急取調室」 「特捜9」の4作品が2019年度民放連続ドラマの平均視聴率ベスト5にランクインしました。報道・情報番組では、新型コロナウイルスに関する視聴者のご関心にお応えする努力を続けた結果もあり、「報道ステーション」の年度平均視聴率が5年ぶりの高さを記録したほか、「羽鳥慎一モーニングショー」が初めて同時間帯全局トップを獲得しました。

このコンテンツパワーにさらに磨きをかけるため、また、生き残りをかけた進化の取り組みを一層加速するため、テレビ朝日グループは第81期を初年度とする新たな経営計画を策定し、今後はこれをもとに行動してまいります。10年後20年後も視聴者・消費者の皆様が必要とされ続けますよう、株主の皆様のご期待にお応えできますよう、グループ一丸となって尽力してまいります。

株主の皆様には、ますますのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長・CEO

早河洋

2020年6月

新しい経営計画が7月にスタート！

テレビ朝日 360° 2020-2025

テレビ朝日グループは2017年度から4ヶ年の経営計画「テレビ朝日360° 2017-2020」を推進し、経常利益の定量目標(220億円)を達成するなど一定の成果を挙げてまいりました。

しかしながら、当社グループを取り巻く経営環境は急激に変化しています。こうした状況に適切に対応し、2020年代を着実に生き残っていくために、2020年代前半の基本指針となる新経営計画「**テレビ朝日360° 2020-2025**」を策定しました。新経営計画は7月からスタートいたします。

新経営計画では、テレビ朝日グループ全ての価値の源泉は「コンテンツ」にあるとの基本理念は堅持しながら、これまで推進してきた「360°戦略」を深化させ、「新しい時代のテレビ局」への進化を加速させてまいります。

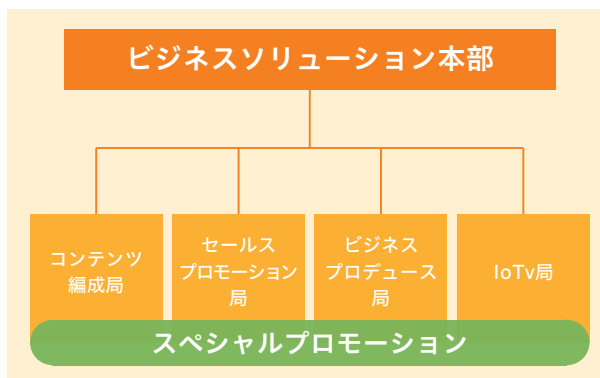
そして、社会の要請や視聴者・アドバイザーなど皆様の期待にお応えするコンテンツを360°に創り、それらのコンテンツを当社グループが保有するメディアで360°に展開することで「収益の最大化」へとつなげてまいります。

「収益の最大化」のための大胆な組織改革

以前の総合編成局、営業局、総合ビジネス局をそれぞれ「コンテンツ編成局」「セールスプロモーション局」「ビジネスプロデュース局」と名称変更します。さらにIoTv(インターネット・オブ・テレビジョン)センターを「IoTv局」へ格上げします。

その4局を統括する「ビジネスソリューション本部」を設置し、「コンテンツ制作部門」「ビジネス部門」「インターネット部門」を一体的に運用する体制を構築します。

そして、これらの部門が一体となった、これまで以上に魅力的な「スペシャルプロモーション」を展開し、「収益の最大化」を目指してまいります。



「収益の最大化」のための具体的施策を推進

▶ コンテンツ制作体制

地上波からインターネットまでコンテンツの360°展開を前提とした制作体制へシフト⇒「**動画制作部**」新設など

▶ セールス体制

コンテンツ・メディアをフル活用し、アドバイザーに総合的なソリューションを提供⇒「**ソリューション営業**」へ

▶ データ・テクノロジーの活用促進

デジタル時代に不可欠なデータとテクノロジーをビジネスに活用する体制構築⇒「**データソリューションセンター**」新設など

▶ メディアシティ戦略

エンタテインメントとテクノロジーが融合する情報発信拠点「デジタルスクエア」建設⇒「**eスポーツ**」「**デジタルアート**」参入

●「テレビ朝日360°2020-2025」の詳細は、当社IRホームページをご覧ください。

https://www.tv-asahihd.co.jp/ir_setex/index.html

テレビ朝日 IR

検索

連結業績ハイライト

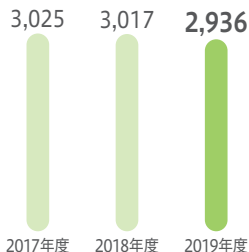
開局60周年記念コンテンツ、連続ドラマ、報道・情報番組などが好調に推移し、視聴率トップグループを維持しました。

連結業績につきましては、大変厳しい状況にあるテレビ広告市況及び新型コロナウイルス感染症の影響により、迅速なコストコントロール等の対策を実施したものの、連結決算における売上高は2,936億円(前期比△2.7%)、営業利益は125億円(同△22.3%)となりました。また、東映株式会社の株式を追加取得し、持分法適用関連会社としたことに伴う負ののれん相当額153億円を持分法による投資利益に計上したことなどにより、経常利益は320億円(同+67.8%)、親会社株主に帰属する当期純利益は263億円(同+105.0%)となりました。

		2017年度	2018年度	2019年度
売上高	(億円)	3,025	3,017	2,936
営業利益	(億円)	186	161	125
経常利益	(億円)	220	190	320
親会社株主に帰属する当期純利益	(億円)	158	128	263
総資産	(億円)	4,354	4,520	4,475
純資産	(億円)	3,401	3,537	3,525
自己資本当期純利益率	(%)	4.8	3.8	7.5
営業活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	181	202	245
投資活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	41	△212	△164
財務活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	△65	△74	△98
1株当たり年間配当金	(円)	50	50	40
配当性向	(%)	33.8	41.6	16.1

売上高

(億円)



営業利益

(億円)



経常利益

(億円)



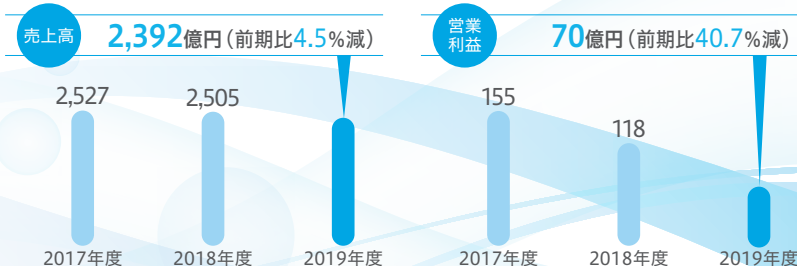
親会社株主に帰属する 当期純利益

(億円)





テレビ放送事業



2019年度の視聴率は、全日視聴率(6時～24時)7.7%、ゴールデンタイム(19時～22時)10.8%、プライムタイム(19時～23時)11.0%、プライム2(23時～25時)5.2%となり、全て2位で終了し、トップグループを維持しております。

当連結会計年度は、1年を通して開局60周年記念の強力なコンテンツを編成しました。5夜連続ドラマスペシャル「山崎豊子 白い巨塔」や「ドクターX～外科医・大門未知子～」 「相棒season18」などが高視聴率を記録したほか、「ミュージックステーション ウルトラ SUPER LIVE 2019」「氷と雪に閉ざされた秘境の地 天空のヒマラヤ部族 決死の密着取材150日間」「フィギュアスケートグランプリファイナル 2019」などの大型特番・大型スポーツ中継が好結果を残しました。レギュラー番組では「報道ステーション」が5年ぶりの高さとなり、バラエティー番組では「ナニコレ珍百景」が好調な日曜に加え、4月改編で「10万円のできるかな」を投入

した月曜、10月にゴールデン3番組を改編した金曜がベースアップした結果、10月・1月クールで2クール連続のプライムトップを獲得し、ゴールデン・プライム帯ともに4年ぶりの高さとなりました。

全日帯では、「羽鳥慎一モーニングショー」が自己最高を更新し、初めて同時帯の全局トップを獲得するなど、午前帯のベルト番組から1日の良い流れを作り、5回の月間トップを獲得しました。

連続ドラマでは、「ドクターX～外科医・大門未知子～」(平均18.5%)、「相棒season18」(平均14.8%)が2019年度民放連続ドラマの平均視聴率1位・2位を獲得し、「緊急取調室」(平均13.2%)が4位、「特捜9」(平均13.0%)が5位と、ベスト5に4作品がランクインしました。さらに開局60周年記念番組として1年間を通して放送した「科捜研の女」(平均11.6%)、「やすらぎの刻～道」(平均5.0%)も堅調な結果となりました。

スポーツでは、「世界野球プレミア12・決勝 日本×韓国」(19.2%)が高視聴率を獲得し、フィギュアスケートでは「世界フィギュアスケート国別対抗戦2019 女子フリー」(14.6%)や「グランプリシリーズ・カナダ大会 男女フリー」(15.8%)、「グランプリファイナル 女子ショート・男子フリー」(15.4%)が好結果となりました。



民放連続ドラマで2019年度平均視聴率1位！
「ドクターX～外科医・大門未知子～」
2019年10月～12月放送



放送開始以来、初めて同時帯全局トップを獲得！
「羽鳥慎一モーニングショー」
毎週月～金曜日 あさ8時から放送

事業別活動報告



音楽出版事業

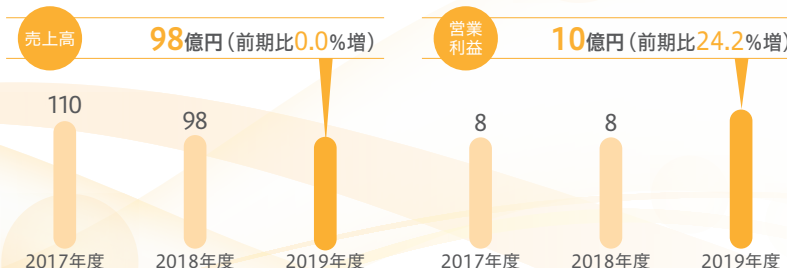
テレビ朝日ミュージックに所属するアーティスト「ケツメイシ」が全国各地でコンサートツアーを展開したことなどにより増収増益となりました。



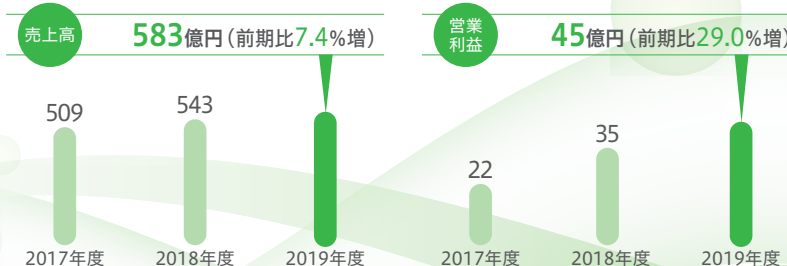
その他事業

●インターネット事業 「AbemaTV」(現「ABEMA」)が、アプリダウンロード数累計5,000万を達成し、目標としているWAU(ウィークリー・アクティブ・ユーザー)の1,000万も突破の回数が増えるなど堅調に推移しました。また、「ビデオパス」(現「TELASA(テラサ)」)や「テレ朝キャッチアップ」などでは、「相棒season18」をシリーズ史上初めて地上波放送直後からドラマ本編の見逃し配信を開始するなど、戦略的に事業の拡大を行い、利用者が増えるとともに、広告収入も順調に伸びています。さらに、「新日本プロレスワールド」は日本のプロレス団体としては初めてとなるエンタテインメントの殿堂 マディソン・スクエア・ガーデンでの興行の全世界生配信を行うなど、グローバルコンテンツとして成長を続けております。

●イベント事業 6回目となる「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」を7月13日から44日間にわたって開催したほか、2大都市で開催している恒例の音楽フェス「東京・大阪メトロポリタンロックフェスティバル2019」や開局60周年の冠主催で開催し35万人を動員した4つの大型イベント「ブルーマングループワールドツアー IN



ケツメイシ
「KTM TOUR 2019」



JAPAN」「SUMMER SONIC 2019」「テレビ朝日ドリームフェスティバル2019」「QUEEN+ADAM LAMBERT THE RHAPSODY TOUR」が大好評を博しました。

●出資映画事業 「映画ドラえもん のび太の月面探査記」がシリーズ歴代第2位の興行収入50億2千万円、「劇場版おっさんずラブ ～LOVE or DEAD～」が興行収入26億5千万円の大ヒットを記録しましたことに加え、「クレヨンしんちゃん」や「仮面ライダー」「スーパー戦隊」シリーズの劇場版も安定した興行成績となりました。



シリーズ歴代2位となる興行収入50億2千万円を記録!
「映画ドラえもん のび太の月面探査記」

©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK 2019



動画配信プラットフォーム事業会社 『TELASA(テラサ)』設立

KDDIとタッグを組み、5G時代の新しいエンタメ見放題サービスを始動

テレビ朝日グループはテレビを取り巻く環境が大きく変わるなか、新たなビジネスモデルや収益構造を持った「新しい時代のテレビ局」への進化を目指しています。

今後の5G普及による動画配信における事業環境の変化をチャンスと捉え、KDDIとともに2020年3月に動画配信プラットフォーム事業会社「TELASA」を設立。そして、新動画配信サービス「TELASA(テラサ)」を4月7日(火)にスタートさせました。

本取り組みにより、これまで手掛けていなかった定額型の動画配信サービス事業に本格的に参入しました。TELASAを通じて、テレビ朝日の地上波番組を中心とした特徴ある動画コンテンツ、地上波放送をはじめとした訴求力、KDDIの5Gをはじめとした先端テクノロジー、映像描画技術、顧客基盤、といった両社のアセットを融合し、これまでにないサービスロイヤリティの高い、新しい映像視聴体験を皆様に提供してまいります。

“みたい！をもっと自由に！”をコンセプトに、**テレビ朝日で放送するドラマ・バラエティ・アニメ・特撮・スポーツなどの人気番組に加え、多岐にわたる国内外の映画・ドラマ、ドキュメンタリー、新作やオリジナルを含む、豊富なラインナップ**でお届けします！シーンにあわせてスマートフォン、タブレット、パソコン、テレビなどのデバイスで自由に映像を楽しめます。**今後にご期待ください！**



相棒: ©テレビ朝日・東映

ドクターX: ©テレビ朝日

科捜研の女: ©テレビ朝日・東映

おっさんずラブ-in the sky-: ©テレビ朝日

動画配信プラットフォーム

TELASA

au × tv asahi /

いつでも、どこでも、
月額562円(税抜)で見放題！
まずは、初回30日間無料！
ぜひお試しください。



株主様向け優待 開始時期未定のお知らせ

当社では、テレビ朝日グループの事業内容を株主様に広くご理解いただく一環といたしまして、「題名のない音楽会」の収録見学、および、本社ビル施設の見学会を、毎年3月31日時点の株主名簿に記録された1単元(100株)以上お持ちの株主様を対象に実施してまいりました。しかし、本年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、開始時期を未定とせざるを得ない状況となっております。諸般の事情を鑑みたくうえで、「株主様向け優待」を再開する運びとなりましたら、改めて告知させていただきます。何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

株主様ご優待 お問い合わせ専用番号

0120-532-510

10時～18時 ※日曜・祝日・12/29～1/3は除く

会社情報／株式情報 (2020年3月31日現在)

■ 会社の概要

商 号 株式会社 テレビ朝日ホールディングス
(TV Asahi Holdings Corporation)
設 立 1957年11月1日
資 本 金 366億5,430万円
本 店 所 在 地 〒106-8001 東京都港区六本木六丁目9番1号
事 業 内 容 株式等の保有を通じて企業グループの統括・運営等をおこなう認定放送持株会社

■ 役員 (2020年6月26日現在)

代表取締役会長・CEO	早 河 洋	取 締 役	高 田 寛
代表取締役社長・COO	吉 田 慎一	取 締 役	小 西 美和子
取締役副社長	角 南 源五	取 締 役	大 場 洋士
専 務 取 締 役	藤 ノ 木 正 哉	取 締 役	岡 田 剛
取 締 役	篠 山 慶二	取 締 役	山 本 晋也
取 締 役	武 田 徹	取 締 役	渡 辺 雅隆
取 締 役	篠 塚 浩	取締役(監査等委員)	数 内 宜尚
取 締 役	浜 島 聡	取締役(監査等委員)	池 田 克彦
取 締 役	板 橋 順二	取締役(監査等委員)	弦 間 明
取 締 役	西 新		

(注) 岡田 剛、山本晋也、渡辺雅隆、池田克彦および弦間 明の各氏は、社外取締役であります。

■ 株式状況

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
300,000,000株	108,529,000株	19,543名

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社朝日新聞社	26,651,840	24.80
東映株式会社	16,670,400	15.51
公益財団法人香雪美術館	5,030,000	4.68
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 大日本印刷口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,030,000	3.75
九州朝日放送株式会社	3,333,500	3.10
公益財団法人朝日新聞文化財団	2,297,100	2.14
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,274,690	2.12
株式会社リクルートホールディングス	2,100,000	1.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,916,400	1.78
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM44	1,899,720	1.77

(注) 持株比率は、自己株式 (1,056,073株) を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.tv-asahihd.co.jp/ ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京証券取引所
外国人等の株主名簿への記載または記録の制限	当社の定款には次の規定があります。 定款第10条 本会社は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。 1. 日本の国籍を有しない人 2. 外国政府またはその代表者 3. 外国の法人または団体 4. 上記1.ないし3.の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体 ②本会社は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。

株主様向け「テレビショッピング販売商品」特別優待価格でのご提供のご案内

テレビ朝日グループで通販事業を担当する(株)ロッキングライフの商品の中から、株主様を対象に、厳選いたしました商品を特別優待価格でご提供しております。

同封のパンフレットに記載の専用ホームページもご覧いただき、ご希望の商品がございましたら、パンフレットおよび専用ホームページに記載の「通話料無料 ご注文専用番号」にお電話ください。

※ホームページでは、パンフレット掲載商品の内容をさらに詳しくご紹介しております。

ホームページの商品説明を印刷して、お手許にお送りすることもできますので、下記「通話料無料 お問合せ専用番号」にお気軽にお電話ください。

お問合せ先

株式会社テレビ朝日ホールディングス 株主様ご優待

通話料無料
お 問 合 せ
専 用 番 号

0120-532-510

10時～18時 ※日曜・祝日・12/29～1/3は除く



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1
電話 (03)6406-1115 URL <https://www.tv-asahihd.co.jp/>